

令和二年度 修士論文・卒業研究題目一覧

東寺領山城国上久世庄の年貢減免要求運動

——「鎮守八幡宮供僧評定引付」に残る全事例から——

亀井久美子

修士論文

卒業研究

日本文学・日本語文化専攻

『古事記』ウケヒ神話の読み

——スサノヲの「手弱女を得つ」発言を中心に——

古橋充行

稲垣ゼミナール

梶井基次郎論

「新美南吉と悲しみ」

『1Q84』が持つ『一九八四年』との対称性の考察

小原愛史
川村香菜子

『とりかへばや物語』における情報取得者の不在

——王朝物語における「人目」比較から——

久野丈一郎

歴史文化専攻

豊臣秀吉に対する贈答

——秀吉発給贈答礼状は「御内書」なのか——

頼則若奈
加藤千沙

表出した「神経」

——『それから』と森田療法——

『ダンス・ダンス・ダンス』における音楽の役割

山藤愛海
瀧本 陵

小説における視覚障害

——『春琴抄』を読む——

西脇実咲

太宰治とマタイ福音書

『雨月物語』の宮木と磯良

沖裕也

——『駆込み訴へ』におけるユダを中心に——

——女子用往来物に描かれた女性像との比較——

松尾 柚花

迫田 ひかる

数人へ向けて書くはずだった児童文学（創作）

『死霊解脱物語聞書』における地獄

林 七海

森 柚葉

『死霊解脱物語聞書』について

『暗夜行路』論

——古今大著開集』と比較して—— 山谷 星佳

——恋愛による変化と安寧への道——

後藤ゼミナール

三島由紀夫『金閣寺』論

山口 恵吾

『失笑』の「誤用」についての考察

上村 静馬

——溝口の求めた生——

RADWIMPSにおける野田洋次郎の歌詞の分析

『折れた竜骨』はミステリーか

山本 優太

浅井 天我

図形を用いた作画表現

漫画におけるオノマトペ「ドン」に関する研究

——『プロメア』から考える——

吉田 赳基

浅井 友里

氷室冴子が描いた少女

渡部 琴美

現代小説における男女の文末詞の変遷

荒木 麻理乃

『バイト敬語』について

乾 由布

柳沢ゼミナール

類義語「結ぶ」と「つなぐ」についての考察

鶴屋南北と産女のような幽霊

木全 深夏

今村 美月

大石 陽菜

現代語「かわいい」の研究

——意味と表記——

大津 未久

現代日本語の待遇表現にみられる男女差

丹羽 春那

新語が定着するのに要する時間についての考察

鎌田 剛臣

徳竹ゼミナール

売薬名の変遷についての研究

幸田 夏澄

妖怪の姿・特徴の変遷について

書生語の変遷

児玉 瑞希

——漫画作品を中心に——

東 七菜子

近代・現代の色彩名について

——青系統——

小森 あみ

『方丈記』における鴨長明の無常観について

人称代名詞の変遷について

佐藤 太一

中宮定子の辞世歌に関する一考察

安藤 侑芽

「美しい」「麗しい」「きれいだ」の意味分析

谷山 美紅

浦島太郎の時代による内容変遷

鈴木 夢

類義語「しっかり」「きちんと」「ちゃんと」についての考察

服部 綾

『平家物語』諸本における差異の影響

高橋 瞳

「かしら」「かな」についての考察

森田 帆香

『竹取物語』における「月」について

中溝 琴月

『落窪物語』の会話文の「文末表現」

——和文の会話文の文体的特徴をめぐって——

山上 咲

絵巻物、奈良絵本、絵入り板本における来迎の場面の考察

中村 吏佐

鬼の色の変遷

「敷居が高い」の意味拡大についての研究

山口 風香

——酒吞童子説話を中心に——

原 江理奈

「かちかち山」の変遷と教育

脇田 結

勝亦ゼミナール

紀友則詠における漢籍の受容

足立夕華

枕草子論

井上友美

平安文学における「猫」

福井ゼミナール

——『枕草子』『源氏物語』『狭衣物語』

王 瀬 奈

『更級日記』から——

王 瀬 奈

『百人一首』における藤原定家の撰歌基準と

日本古代における占いにについて

大澤 香 玲

五十六番歌について

大 平 千 紘

天照大御神と持統天皇

恋の小道具としての月

岡 田 啓 希

——『古事記』から読み解く親和性——

——三大和歌集を中心に——

粕 谷 茜

種 村 真 帆

古代中国における再生

黒 田 涼 夏

『源氏物語』における装束の考察

教訓から英雄譚へ

高 木 芙 実

——衣装選びと心情の関係性——

千 原 玲 実

——鬼退治を中心に——

高 木 芙 実

藤原清輔詠歌の一考察

平安仏教説話における動物転生譚

高 木 芙 実

——「涙」「雨」から——

新 野 愛

——『日本霊異記』と『今昔物語』を中心に——

細 谷 さ つ き

『大和物語』における在中将章投の考察

「恋わずらい」の変遷

細 谷 さ つ き

——『伊勢物語』と『古今和歌集』との比較を通して——

——三大和歌を中心に——

逢 坂 由 佳

野 原 悠 未

『源氏物語』における貴種流離譚

深 見 梨 緒

——三大和歌を中心に——

逢 坂 由 佳

『夜の寝覚』中の君について

——母としての立場から——

古 川 聖 千

大池ゼミナール

芸術面から見た硯について

梅 溪 眞 衣

常用漢字の歴史と課題

北 河 咲 耶

教材としての『棒』（安部公房）

原作と実写化作品の比較

蟹 江 奈 々 緒

——教材観と授業展開に関する一考察——

——『図書館戦争』を題材として——

鈴 木 耀 太

亀 川 奈 菜 子

散らし書きの美の追究

金 森 温 加

「卒塔婆小町」の解釈とメディア変換

小 寺 さ くら

趙之謙の人と書

村 瀬 希 咲

映画「アラジン」におけるディズニーの趣向

——「シンデレラ」とガイ・リッチーを中心に——

甘露ゼミナール

大宰治『お伽草紙』『浦島さん』の解釈とリメイク案

橋 爪 友 梨 亜

三島由紀夫「班女」の考察とリメイク案

近 藤 沙 紀

三島由紀夫「班女」解釈とリメイク案

蓮 容 美 芳

三島由紀夫「弱法師」の解釈とリメイク案

坂 倉 萌 華

『お伽草紙』『浦島さん』の解釈とリメイク案

山 内 麻 衣

——家族観を手がかりに——

長 谷 川 聖

三島由紀夫「邯鄲」の魅力とリメイク案

天 野 早 貴

——企業広告の分析を中心に——

福 井 伶 奈

三島由紀夫「班女」の解釈とリメイク案

天 野 早 貴

三島由紀夫「班女」の解釈とリメイク案

福 田 寧 々

三島由紀夫「邯鄲」の魅力とリメイク案

天 野 早 貴

三島由紀夫「班女」の解釈とリメイク案

福 田 寧 々

三島由紀夫「邯鄲」の魅力とリメイク案

天 野 早 貴

学生視点から考える海外卒業旅行の企画案

福 田 寧 々

学生視点から考える海外卒業旅行の企画案

福 田 寧 々

太宰治「カチカチ山」の解釈とリメイク案

牧原早希

太宰治「カチカチ山」の解釈とリメイク案

三上萌瑛

三島由紀夫『近代能楽集』「葵上」の解釈とリメイク案

山田綾香

中川ゼミナール

名古屋市徳重図書館における館内工夫について

櫻井多瑛

学校図書館における選書基準・廃棄基準について

——愛知県常滑市内各中学校の場合——

澤田侑里

公共図書館におけるレファレンスサービスの認知度について

——桑名市立中央図書館のアンケートを通して——

本間南帆

宮内ゼミナール

「乱れた」敬語表現のアンケート調査

古川泰成

現代における「尊い」の新用法

若尾百絵

ネガティブな歌詞表現の特徴

——SEKAINOOWARIを例に——

青山桃花

高校教育との関連から見る合唱曲の特徴

——NHK全国学校音楽コンクールを対象に——

井戸詩菜

ホラー小説の感覚表現

——「ばざわんが、来る。」を例に—— 衣斐汐里

「ツクル」の漢字表記の使い分けについて

大矢真瑚

back number・清水依与史の表現特性

岡崎朝香

男装の麗人キャラクターと相手役キャラクター

の言語特徴 川原悠莉

少年漫画『ジョジョの奇妙な冒険』における

悪態の対象について 小林穂乃佳

Togetherを利用した日本語の誤用に

関する話題の分析 田中宏明

「テニミュ」の歌詞考察

——「青学」と「立海」を比較して——

濱島里英

石田スイの表現特性

——漫画『東京喰種』の吹き出し内の表現を対象に——

早川悠介

主人公の役割語について

松井恵梨菜

「さ入れ言葉」の実態について

水野雄太

LINE・Twitterの句読点

村瀬萌

ディズニーヒロインの女性語の研究

森つかさ

宮澤ゼミナール

脚本『Q10』における表現方法が

キャラクター性に与える効果 安藤千恵

接客業経験の有無による「さ」(さ)せていただく」

表現の印象と許容度 伊藤愛梨

Twitter企業アカウントの告知ツイートの変遷

今泉春菜

芸術的メディアアミックスによる表現の変化

——宮下奈都の小説『羊と鋼の森』を題材として——

岩本咲希

聞き手からみた勧誘の場面における有効な言語表現

大畑樹紀

オンライン型講義における分かりやすさについて

——言語表現と話段を中心に—— 岡田郁弥

長野県の観光施設における言語景観 笠井優貴

嘘の言語的特徴と人間関係の親疎による嘘のつき方の差

沢田仁保

オンラインにおける初対面同士の雑談について

杉本奈津子

YouTubeによる雑談の話題展開

高見春香

漫画における楽器音のオノマトペ表記について

谷本優綺乃

料理レシピを用いた状態副詞の認識に関する研究

土井愛絵

お悩み相談における他者配慮表現

丹羽野々花

音声通話との比較から見るビデオ通話が

相づちに及ぼす影響

福井友隆

音声・ジェスチャー・資料による伝わりやすさの違い

牧村耕平

シテイ・ポップの歌詞表現の解釈

——情景イメージを手がかりに—— 三浦 亮

取調室での談話について

——日本のテレビドラマを資料として——

箕輪 咲良

若者言葉に対する認識と印象の世代差 安井萌乃

西嶋ゼミナール

Instagramの投稿写真中のフレーズに関する考察

——化粧品を用いた調査に基づいて——

石田 安菜

ストーリー性が高いJRP制作における、

主人公の髪色変遷、及び効果的な選択について

畔柳 沙也加

介護業界の人材確保に向けた異世代ホームシェアの

有効性検証及び施策提案

濱本 神威

菓子商品における復刻商品のパッケージ・デザインが

消費者の購買意欲に与える影響

堀川 昂太郎

映画内プロダクト・プレスメントを活用した

自動車広告の可能性

——東海圏におけるコンセプトカーを用いた

購買意欲喚起の分析——

石原 智仁

アパレル系ブランドの紙製シヨップ袋における

再利用調査と来店促進活用法の提案

和泉 愛

オンラインにおけるファッションの購買行動について

——世代別の検証と具体的施策の提案——

岡田 蘭

化粧品のサンプルの販売促進効果の検証

——商品ジャンルごとの違いとブランドへの

ハロー効果に焦点を当てて—— 加藤 梨有良

読者の属性により異なるマンガの着目点の違いについて

—— スポーツマンガ「ハイキュー!!」を例に ——

河合 悠華

公共広告における、風刺表現の分析と説得効果の検証

川島 萌

劇場入場者特典での映画鑑賞行動向上の検証

鈴木 慧飛

グルメ情報誌におけるコピー分類と読者と情報を

つなぐ表現の提案

—— 雑誌 *dancyu* を参考に ——

中村 実優

変化する化粧品広告から感じる親しみの度合いの比較

—— 2010年代と2019年代の

資生堂3ブランドを例に —— 永森 さくら

家庭用ゲームソフトのキャッチコピー分析と

効果的な広告検証

—— RPGに焦点を当てて —— 橋本 圭吾

顧客層に着目した古着屋の来店者数増加に向けた提案

—— 親子向け施策の効果検証、東海地方を中心に ——

藤井 彩代

世界遺産が及ぼす観光振興の検証

—— 愛知県犬山市国宝犬山城を例に ——

堀 芙由香

キャラクターグッズに対する意識調査と展開方法の考察

—— 既存のライフタイムジャーニーにかわる、

世代を面として捉えた販促方法の提案 ——

前田 紗江

既存知識を活用した物語CMに必要なユーモア要因について

山本 茉衣

平塚ゼミナール

エセ方言の印象はリアル方言の印象と一致するのか

桐林 千尋

長崎県佐世保市方言の文末イントネーションの種類

田中 伊吹

インターネットの書き込みにおける新しい方言の形

河津 航平

静岡県方言の主格・対格の現れ方について

栗田 あすか

西三河方言の世代差

酒井 亜美

愛知県知立市方言の老年層のスタイル

杉浦 壮真

愛知県知立市の多言語表示とその理解

松並 朋佳

漫画・アニメにおける名古屋方言の印象

芳田 崇志

村岡ゼミナール

『剣の巻』源家相伝二刀譚の主題を読み解く

——実在する名刀が背負った武家盛衰のメタファー——

浅野 歩

たたら製鉄における鍛冶神の変容

——異形の神、天目一箇神の容姿と金屋子神

との関係を中心に——

三方原の戦いにおける徳川軍撤退の様相

中山 翼

九相観ならびに九相図の歴史の変容について

——『摩訶止観』及び人道不浄観から

人道無常観の図へ——

平安中期宮廷女性装束の一考察

——正暦四年の五節の舞姫を中心に——

山田 あい

中世父子別離邂逅譚の考察

——『藤の衣物語絵巻』を中心に——

山田 千咲

播磨ゼミナール

戦国における公家の動向

——『政基公旅引付』を例に——

豊臣政権とキリスト教

——『伴天連追放令』発令以降の動向——

丸山 遼真

『駒井日記』からみる清須城下町

大坂本願寺と戦国大名朝倉氏

加藤 大輝

林 達也

古山 睦弥

知行宛行状及び知行安堵状からみる徳川家康の家臣団編成

——今川旧臣及び武田旧臣を中心に——

水野 恵輔

史料分析でみる豊臣政権と博多商人

村上 潤一郎

小川ゼミナール

『男色大鑑』に見る衆道

——井原西鶴の目を通して——

磯貝 知輝

日本の伝統模様

——江戸時代の町人文化・生活から——

今井 孝憲

天保期の日用層

——天保の改革と日常からの考察——

大橋 輝碩

寛政改革における「御免関東上酒」

——関東酒造の奨励と幕権の回復——

篠島 諒

近世における障害者の位置づけについて

橘 泰子

戦争文学としての『草枕』

——夏目漱石と日露戦争——

中山 知子

江戸時代の錦絵と彫物

——歌川国芳「通俗水滸伝」から読み解く——

深谷 望央

江戸時代における化粧文化

——出版メディアと紅花問屋の経営戦略——

星野 菜々子

江戸時代の養生の実態

——変化する養生観——

前川 真衣

近衛文麿と十五年戦争

江戸時代における陰陽道の知

——陰陽師と曆——

天明期尾張藩の教育政策

——明倫堂における諸学派の対立と協調——

森中 恭平

江戸時代における歌舞伎と陰間

近代日本における天皇制の確立と教育勅語

門田 野乃花

——教育政策を中心に考察——

矢澤 誠人

江戸時代の女子教育の行方

— 庶民教育機関の寺子屋の学習内容から —

藪下 莉子

三河地域における書肆・蔵書家と地域社会

杉浦 智里

明治期の女子教育観と西洋主義

— 「女学生の醜聞」記事を史料に —

山口 佑

近世雅楽における楽人と武家社会

杉山 桃子

江戸時代における旅の普及と女性旅の実態について

吉田 有希

— 尾張藩を中心に —

高須 礼音

蛮者の獄における獄中と刑罰

渡邊 美月

幕末の危機管理体制と領民救済

— 安政東海地震を例に —

武内 彩華

白根ゼミナール

見世物興行にみる「御利益」と庶民の受容

石川 和音

松坂商人長谷川家の経営方針と店掟

— 葉種御用と鉾山開発を中心に —

谷口 哲太

富士山信仰をめぐる参詣者と地域社会

井上 安理

中元ゼミナール

岡崎における鉄道と都市化

出下 聖人

新選組にみる幕末政局と池田屋事件

井上 望

昭和戦前期における佐藤尚武の対外構想

後藤 優奈

近世大名庭園の植栽と江戸周辺地域

— 六義園を事例に —

齋藤 晃大

明治期における武器規制と自由党激化事件

菅原 将斗

尾張家における御守殿の入用と将軍姫君

— 淑姫を中心に —

齋藤 航平

四日市港の開港外貿易港指定と地域の動向

都築 悠真

岐阜県における薩摩義士の顕彰活動と教育の変遷

二宮 理紗

戦間期における潜水艦認識と海上護衛戦構想

二村 健介

名古屋電気鉄道の市営化と電車焼打ち事件

——市営化における『新愛知』・『名古屋新聞』の報道——

野寺 桃香

富山県における米騒動と新聞報道

——日泰寺の建立・東山公園の開園を中心に——

長谷 朋香

藤川 咲子

宇垣纏と大艦巨砲主義の変容

坂本龍馬像の変遷

——新聞報道や関係者の伝記の分析を通じて——

望月 綾佳

愛知県における方面委員制度の設置と展開

山田 瑠菜

小早川ゼミナール

きねこさ祭の継承と同年組織

瀬戸の陶磁器産業と陶祖顕彰

現代の祟り伝説

——ゴリンサマの祟り——

郷土料理の伝承と利用

東海地方における鯉食の現在

昆虫食の伝統と今後

——長野県南部の事例を中心に——

獅子芝居の歴史と伝承問題

——伏屋の獅子芝居を中心に——

瀬戸市の警国祭り

——変化と継承の問題を中心に——

たばこと喫煙習慣の変化

瓦職人のライフヒストリー

——三重県いなべ市大安町・出口製瓦——

出口 夏那

「お月見どろぼつ」をめぐる住民意識

——都市化の進展と民俗行事——
土肥 美菜子

阿知波 里奈

片山 裕生那

勝川 溪一朗

金沢 侑莉

菊池 大

北島 桂秀

小谷 美星

近藤 海生

佐々木 貫次

郡上踊りの歴史と地域住民の関わり

——保存会活動と住民意識——

松平紗莉

ハンドメイドの民俗

——日常着からコスプレ衣装へ——

安井駿輔

東海地方の都市伝説について

——変遷と諸要素の一考察——

山口優一

人形の意味と役割の変化

——人形供養とからくり人形から——

山田知輝